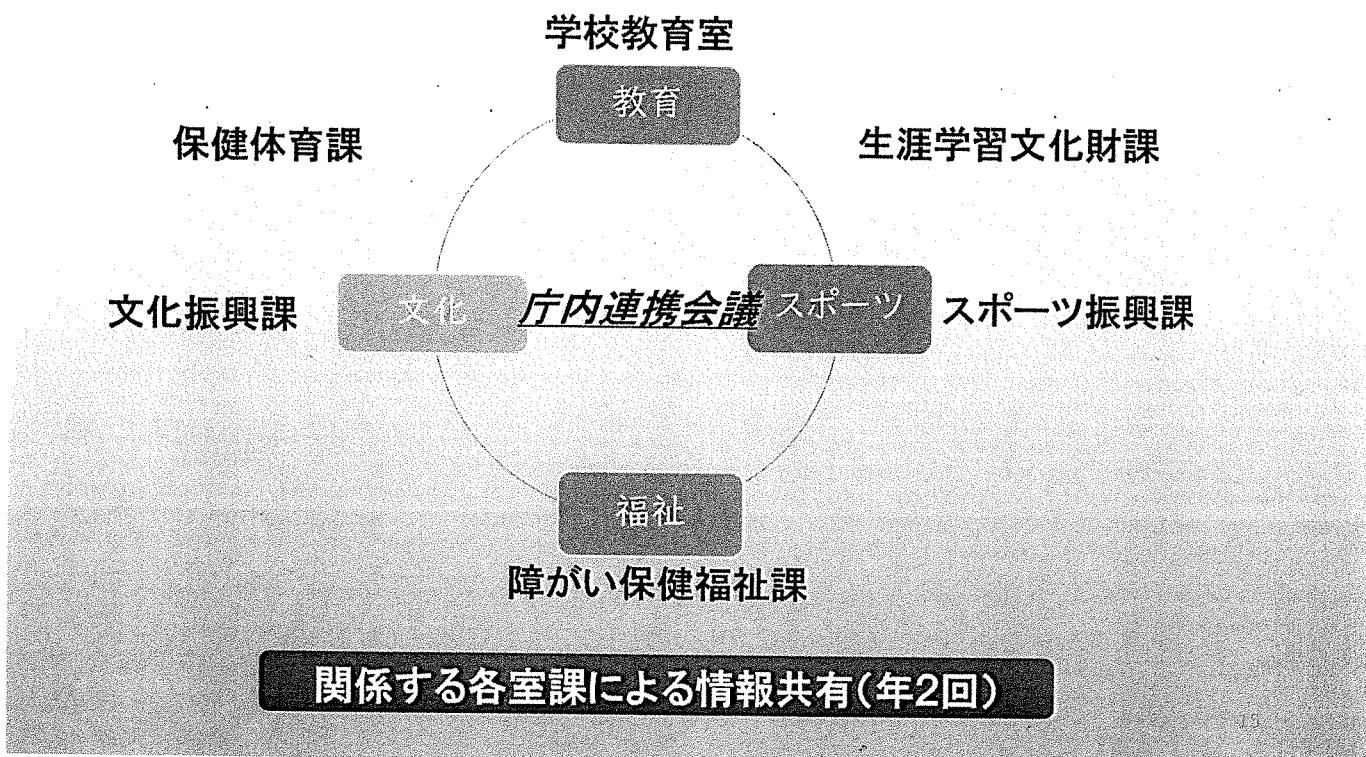


2 本県における障がい者の生涯学習推進のための具体的な取組

岩手県「障がい者の生涯を通じた学習活動」に係る 庁内連携会議



2 本県における障がい者の生涯学習推進のための具体的な取組

各室課からの情報提供(第1回記録より)

文化振興課

- ・「岩手県障がい者芸術活動支援センターかだあると」を設置（県社会福祉事業団委託）
→創作活動等支援（新たな作家さんや作品が毎年出てきている）
- ・第30回県障がい者文化芸術祭
- ・アールブリュット魅力発信事業
→巡回展、作家インタビュー動画、デジタル展覧会、首都圏での作品展示

スポーツ振興課

- ・障がい者スポーツ振興事業
→障がい者スポーツ教室（県各地で実施、子どもや大人誰でも参加可）
- ・インクルーシブスポーツ推進事業
→県障スポ協委託予定 令和4年度は県央、沿岸地区で実施（今後全県へ）
- ・障スポ協への職員駐在
→スポーツ振興課と障スポ協との一層の連携

障がい保健福祉課

- ・障がい者理解の促進
→「共生き条例」に係る研修会を庁内職員対象としてきたところ。特別支援学校 卒業後、生徒の就労先である企業の障がい理解に向け、研修対象を変えていく予定。
→社会でのバリアが少しでも減っていくよう取組を進めている

2 本県における障がい者の生涯学習推進のための具体的な取組

各室課からの情報提供(第1回記録より)

学校教育室

- ・いわて特別支援教育推進プラン
「ざさえる」→県民の理解と生涯学習の推進
→県民向け公開講座
→特別支援教育サポーター養成
→スポーツ・文化芸術活動を通じた生きがいづくり、地域とのつながり
- ・特別支援教育サポーターの利活用

保健体育課

- ・オリンピック・パラリンピックムーブメント全国展開事業
→令和4年度は各校での取り組みへ移行
- ・ボッチャ用具の充実
→各教育事務所へ4~6セット準備している。

2 本県における障がい者の生涯学習推進のための具体的な取組

文部科学省「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰推薦

※平成29年からの表彰制度

受賞年度	団体名	活動内容
平成29年	特定非営利活動法人岩手音声点訳の会	録音図書製作事業等
平成30年	特定非営利活動法人岩手点訳の会	点訳図書製作事業等
	いわて・きららアート協会	いわてきらら・アート・コレクションの実施
令和元年	山田町朗読ボランティア	声の広報(広報やまだ音声訳ボランティア)
	障がい者観光サポーターの会	障がい者観光サポーター
令和2年	久慈地域卓球バレー協会	障がいの有無に関わらず、共に活動する取組
令和3年	特定非営利活動法人アートで明るぐ生きるかわさき	地域の高齢者、障がい者のアート交流事業
	社会福祉法人光林会 るんびにい美術館	障がい者のアート活動、併設のカフェの運営
令和4年	ぽけっとの会	重度障がい児者の活動、地域の理解促進

2 本県における障がい者の生涯学習推進のための具体的な取組

令和4年度「障がい者の生涯を通じた学習活動」市町村担当者研修会

1 楽 旨

障がい者の学習活動支援について、国の施策、県の取組についての理解を深めるとともに、関係団体の活動や取組を知ることにより、県内各地域における障がい者の生涯を通じた多様な学習活動の充実を図るための一助とする。

2 期 日

令和4年11月9日(水)13:20～16:40 ※オンライン併用したハイブリッド開催

3 対象者

- ・各市町村生涯学習担当部局職員
- ・各市町村障がい者の生涯学習活動関係者(福祉関係部局職員含)
- ・県「障がい者の生涯を通じた学習活動庁内連携会議」関係各室課職員
- ・県社会教育主事等(博物館、美術館、図書館、県内青少年教育宿泊施設関係職員含)

4 参加者

28名(参考16名、オンライン12名)

2 本県における障がい者の生涯学習推進のための具体的な取組

令和4年度「障がい者の生涯を通じた学習活動」市町村担当者研修会



「ぽけっとの会の活動をとおして伝えたいこと」

ぽけっとの会 代 表 千葉淑子 氏
障がい当事者 千葉一歩さん



「ソフトボール活動を通じた知的障がいのある人たちの多様な学びと交流の場づくり」

知的障がい者ソフトボールチーム「いわてスマイルーズ」マネージャー
江刺寿生会 就労継続支援B型ワークセンターわかくさ
サービス管理責任者 高橋 英絵 氏



「視覚障害者のニーズに応える博物館のあり方」

桜井記念 視覚障がい者のための手で見る博物館
館長 川又 若菜 氏

2 本県における障がい者の生涯学習推進のための具体的な取組

令和4年度「人づくり・地域づくり関係職員等研修講座」(中部地区)

名古屋市立生徒学習指導センター
研修実施報告 Web版

第1回・第2回(令和4年7月1日(金))
受講場所：名古屋市立美術館
受講者数：12名

人々に・地域に開かれた美術館等研修会（中部版）

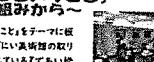
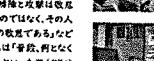
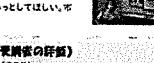
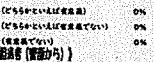
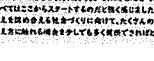
中部教育事務所所長内各市町の生涯学習課(徳島県、宮崎県、地区センター、地域づくり関係団体)を対象に、伸びやかな生涯学習指向に向けて、分かり易い研修会を深めることを目的に実施されました。

(講習) 「美術館の作家さんと出会う！」～隠がりのある作家さんとの出会い授業～

研修会の前半は「てぬぐ」制作実習、後半は「隠がりの作家さんとの出会い」で構成されました。

「隠がりの作家さんとの出会い」では、デジタルタブレット端末で、あいだの会の作家さんとの対話を行いました。「じつはその人の、絵画の自己評議(自評)、絵画に対する批評や人々との接觸(所感)、絵画の意味や背景(心)について、隠がり作家さんが丁寧にかけられていて、隠がりながらも答えてくれる」という感動的な瞬間には満ちました。ほかに、中学生の書き下ろしの文章(文部科学省「文部科学大賞」)である「おもしろいこと」を題材に、隠がり作家さんとの対話を実施しました。作家さんは「『隠がりの作家』が書いた絵画仕事をしているが、今まで全く知らないな?」「生の声を聞くことができて良かった」といった声が寄せられました。



【講義】 「社会で学び、生きるということ」～もんびりといい美術館の取り組みから～

講義は「社会で学び、生きるということ」をテーマに仮題から構成されていました。そして「美術館を取り組みにする事例的考察」、併せて行われていた「あいだの会の事例について」も含めありました。

「隠がりの作家」は、隠がり作家が取扱う作品は、あらわる他の人の意見よりも、自分たちの意見のほうが意見にならなかったり、自分の意見が認められたりしたときに、必ずしも隠がり作家の意見が選ばれてしまうことがあります。隠がり作家は、自分たちの意見が選ばれてしまうことを改めて学び直す難しいといった声が寄せられました。

「これまで『隠がりの作家』が「アーティストの立派さ」についての研究を多く始めた中で、今日「かわい」(文化)という、これまでにない視点のもので、大変勉強になった。」

(受講者の評価)

【A(非常に)】	100%
【B(どちらかといえば普通)】	0%
【C(どちらかといえば悪い)】	0%
【D(非常に悪い)】	0%
【E(最高!)】	0%

「今までの経験と比較しても、特にここに来てお話を聞きました。それはこれまでの経験と比べて、とても面白く感じました。また自分の意見を表現する機会をもつてお話ししてもらえてとても感謝です。ありがとうございました。」

障がいのある人が、どういった生活、仕事をしているのか知らなかつた。今日出会えたことで、その人の人生や背景を知ることができた。

どんな人でも、制限なく暮らせる世の中になるように
私も「知る」ことから始めたいと思う。

これまで、身体障がいのある人の生涯学習に触れたことはあったが、今回は知的障がいのある人の文化・芸術活動に触れることができてよかったです。



障がいのある人との実際の関り

2 本県における障がい者の生涯学習推進のための具体的な取組

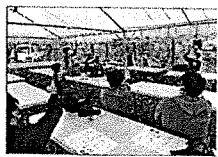
県立県南青少年の家 自主・共済事業「大人ワンダークラブ～野外活動編～」



2 本県における障がい者の生涯学習推進のための具体的な取組

県南青少年の家 令和4年度「大人ワンダークラブ～野外活動編～」

令和4年度 大人ワンダークラブ～野外活動編～
施設名：県南青少年の家 担当者：主任士官 民野 宣弘



青少年の家の職員の方々の名前をしっかりと覚えていました。以前いただいた青少年の家の資料を広げて、次はどんなことができるかと真剣に熟読しています。(保護者)

・職員の方がとても親切にしてくれたのでとてもありがとうございました。(保護者)

・今度は、モルックと音楽活動に参加したいです。
・とても楽しかったので、またやりたいです。

(本人)

合理的配慮の提供

職員の心のバリアフリー

共に活動する機会

3 今後の取組の推進について

無意識の排除の改善等



理念頼りで具体的に配慮等が見えない状況

3 今後の取組の推進について

事業周知等における広報の工夫(※参考例)

**文部科学省事業
近畿・中国ブロック**

共に学び、生きる共生社会カンファレンス

～障害理解の促進、障害者の学びの場の広げ手の育成と
障害者の学びの場の拡大を目指して～

日 時
令和2年1月31日（金）
10:00～16:30（受付 9:30～）

会 場
兵庫県民会館 けんみんホール 他
(神戸市中央区下山手通4-16-3)

ト テ マ
障害があっても、
もっと自由にもっと楽しく学ぶ
～共に学び、生きる共生社会に向けて～

「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」により得られた成果等について共有することによる、共生社会の実現。障害者の生徒学年の活性化に向けて普及・発展を図る。対象：中国地方の社会教育や特待支援教育、障害福祉等の専門家があり、各地域の連携を計りし、解決に向けた協議を行なうなど、様々な生徒が出会い対話を駆出し、障害者間のネットワークを構築する。

定 員
200名 参加費無料 駐車場になり支度費は各自負担
させていただきます。

障害者の学びの場のある方の登録
対象：中国地方の県県、市町村の行政（障害者の学習支援担当を中心）、生涯学習、教育スポーツ、文化、情報、児童青少年の総合窓口の担当者、社会教育委員会、公認その他社会教育施設運営者、特別支援学校教員、大学教員、海事リーダー、農業技術者、社会福祉士、公認会計士、企業、NPOその他の関係機関等の担当者、地域、実業団、団体、実業、組織、精神科の担当のある方々

問合せ先
兵庫県教育委員会事務局社会教育部課
〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5-10-1
TEL:078-362-3782 FAX: 078-362-3927
<http://www.hyouro-ed.jp/>

会場地図

日程・内容

9:30～10:00	10:00～10:35	10:35～11:15	11:15～12:15	12:15～13:15	13:15～14:15
受付	開会行事	全体会 (ミニセミナー、シンポジウム)	休憩 (ポスター展示)	ポスター セッション	分科会

会場会

○ミニ講演
（会場内の天井板）：パフォーマンス、ダンス等
（会場内各部屋）：演劇
○シンポジウム
シンポジスト：赤木 和幸（神戸大学准教授）
岡本 一正（兵庫県立WAPコーポレーション代表取締役）
玉木 幸一（西宮市社会福祉協議会会長）
モテレ（パラパラ）コメントーター

**手帳添記
要約記録
あります！**

ポスターセッション

テーマ	開催場所
文化と学び	特定非営利活動法人コネス（大阪府）
生きることと学び	西宮青年生活会議（兵庫県）
体と学び	ウォーカー・クラウン・マウンテン（兵庫県）
社会につなぐ学び	特定非営利活動法人エイエス（兵庫県）

分科会

テーマ	開催場所
① 文化と学び	一般財団法人たんぽぽの家（兵庫県）
② 生きることと学び	神戸市立（兵庫県）
③ 体と学び	NPO法人スノウスクロップス（兵庫県）
④ 社会につなぐ学び	特定非営利活動法人シャイン（和歌山县）

**手帳添記
要約記録
あります！**

共に学び、生きる共生社会カンファレンス 参加申込書

所属（組名）	会員登録	連絡先	連絡先（電話番号）	希望の分科会
□市町村障害者生涯学習会連絡会議 □公認会計士会連絡会議	ひょうご たより 田中 太郎	078-362-3782 AAA	□	

〈兵庫県教育委員会事務局社会教育課 聞いていたいこと

車いすでの移動、手話通訳等、配慮が必要な方は、備考欄にその旨を記入願います。

定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。

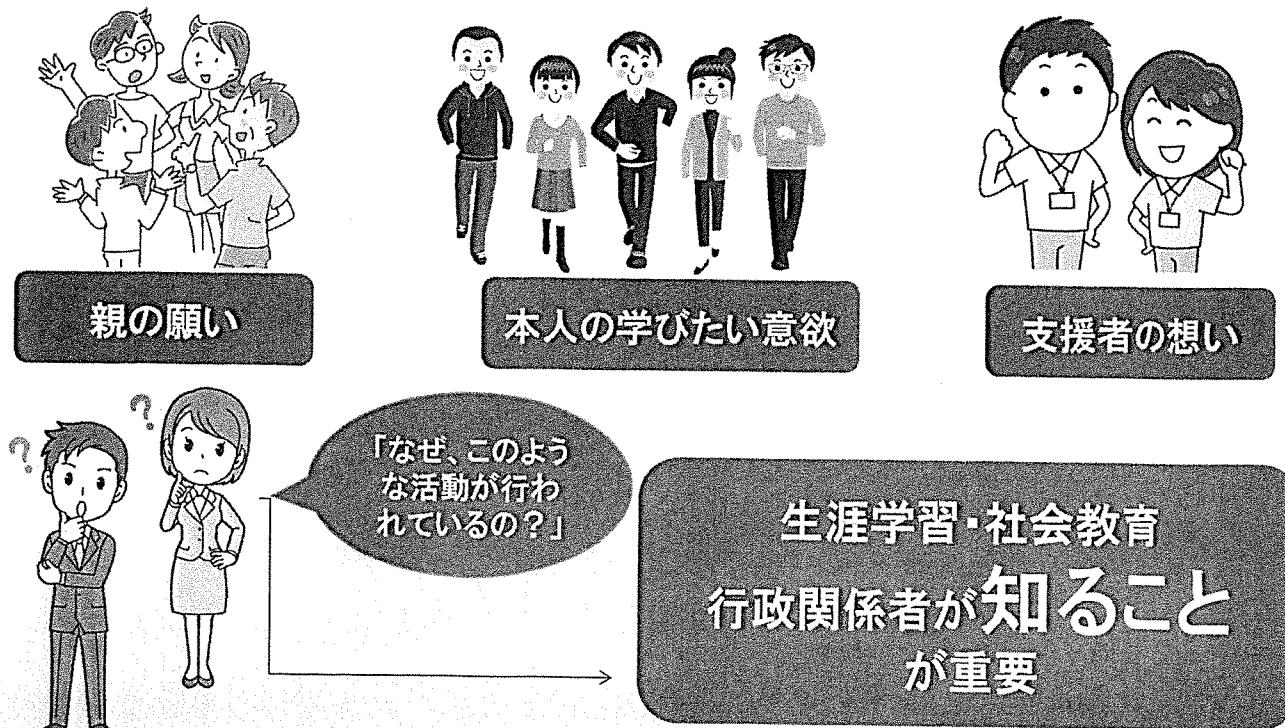
本当に参加してほしい方へ、必要な情報が届いてるか

参考

上記参加申込書に記載せる記入のうえ令和2年1月10日（金）までにFAXにて申込願います。
（兵庫県教育委員会事務局社会教育課まで）(FAX: 078-362-3927, E-mail: syakaikyu@edu.hanawa.jp)

3 今後の取組の推進について

【障がい者の生涯学習活動は、なぜ行われているのか】



2 本県における障がい者の生涯学習推進のための具体的な取組

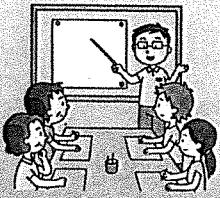
障がい者の生涯学習推進に向け意識したい4つの視点

障がい
障がい者
理解

関係団
体との連
携

体制の
整備

学習方
法とニ
ーズの把握



「障がい者の生涯学習推進のあり方に関する研究」より(R2～R3 岩手県立生涯学習推進センター)

27

3 今後の取組の推進について

障害者の生涯学習の推進を担う人材育成の在り方検討会

議論のまとめ 別添：障害者の生涯学習に向けて関係機関に期待される取組



障害者の生涯学習の目的や内容は、その実施主体毎に目的や役割が異なるため、それぞれの実施主体の担い手に求められる役割も異なる。
そのため本検討会では、報告本文の別添として、「実施主体」毎に「想定される担い手」「現状と課題」「期待される取組」「求められる役割」を整理した。

実施主体	想定される担い手	現状と課題	期待される取組	求められる役割
教育委員会	・社会教育主事等 ・社会教育・生涯学習担当者	・「障害者支援＝福祉分野の施策」という先入観 ・関係者等との連携不足	・教育振興基本計画等への障害者の生涯学習の位置づけ、職員研修等の企画・実施 ・福祉との連携、自立支援協議会等の参加	・社会教育主事等が中心的な役割を担う ・行政、団体等とのネットワークづくりのとりまとめ役 ・地域資源を最大限活用した社会的包括
公民館 生涯学習センター	・公民館等職員 ・社会教育団体、サークル、地域住民	・障害者の学習支援の経験不足 ・取組の地域間格差	・既存事業での合理的配慮の実施や障害の有無にかかわらず共に学ぶ場の提供 ・誰もが参加できる団体・サークルの育成	・障害者に寄り添い、対話的に向き合う姿勢 ・福祉と連携し地域資源の把握・活用 ・持続可能で包括的な学びの場づくり
図書館	・司書等、職員 ・ボランティア ・図書館協力者	・障害者が利用可能な書籍等の不足 ・読み環境の未整備	・各館の実情や各障害種別の利用者ニーズ等に応じたサービスの提供体制の整備 ・社会教育・福祉部局と点字図書館との連携	・司書等によるニーズ等を理解した適切な対応 ・著作権法等の正しい理解 ・障害当事者の司書等によるピアサポート
特別支援学校等	・教職員 ・ボランティア ・教職員OBOG等	・学校卒業後の生涯学習の観点を踏まえた指導の視点の不足	・生涯学習の意欲向上に向けた取組 ・コミュニティ・スクール等の仕組みの活用 ・同窓会が生涯学習活動を担うことへの期待	・地域学校協働活動等による地域との連携 ・教職員経験者による生涯学習分野でのコーディネーターやアドバイザーとしての活躍
大学等の 高等教育機関	・大学教職員 ・学生 ・社会連携担当	・オープンカレッジ、公開講座等の活動継続のための体制づくり	・オープンカレッジ、公開講座等の継続的な実施 ・修了証明を行なうプログラムの実施等 ・教職員、学生などが関わるためにの取組	・大学の特色を生かした学びの場の提供 ・学生サークルなどの活動を通じた地域との連携 ・学生が担い手となる活動への支援
障害福祉 担当部局等	・障害福祉担当 ・自立支援協議会構成メンバー	・社会教育・生涯学習と福祉部局との連携や役割分担	・障害者計画等に生涯学習の位置付け ・自立支援協議会を通じた地域における生涯学習、余暇、レクリエーション等の活動の推進	・障害者の生涯学習のニーズ等の把握 ・本人等のニーズの生涯学習関係者へのつなぎ ・社会教育担当者の自立支援協議会への参画
社会福祉協議会	・ボランティアセンター職員、ボランティアコーディネーター	・障害者の生涯学習活動におけるボランティアの不足 ・障害理解の福祉教育	・障害者計画等に生涯学習の位置付け ・ボランティア団体、社会教育施設との連携 ・高校生、大学生等と障害者の生涯学習活動とのつなぎ、コーディネート	・ボランティア団体、社会教育施設との連携 ・高校生、大学生等と障害者の生涯学習活動とのつなぎ、コーディネーション
障害福祉サービス等を実施する社会福祉法人	・運営スタッフ等 ・ボランティア ・障害当事者	・学びの必要性を理解しつつも、ノウハウや地域資源の情報の不足	・各施設、制度の趣旨を踏まえつつ、各障害者のニーズに応じた、成長できる学びの支援 ・生涯学習関係者との連携の促進	・障害福祉サービス等の制度内外を問わず、ニーズに応じた生涯学習支援や連携の工夫 ・学びの場の情報収集・発信
生涯学習事業に取り組むNPO等	・運営スタッフ ・ボランティア ・障害当事者	・柔軟性と機動力のある取組が可能 ・持続可能なみづくくり	・障害者本人の多様な社会参加を促す学び ・組織や制度にとらわれない自由で柔軟な取組 ・障害者本人や家族等のニーズに寄り添う支援	・障害者本人のニーズ等を多方面へ情報発信 ・新たなプログラム開発など、この分野の牽引役 ・行政等への必要な政策提携など

出典：文部科学省「障害者の生涯学習の推進を担う人材育成の在り方検討会」資料より

参考資料

障害者の生涯学習の推進方策について
(文部科学省HP)



「障害者の生涯を通じた学習支援活動」文部科学大臣表彰
(文部科学省HP)



障害者の生涯学習支援入門ガイド・事例集
(文部科学省HP)



心のバリアフリーについて
(首相官邸HP)



参考資料2

秋田県大館市の生涯学習 ※障害者の生涯学習事業
(大館市HP)



「ピュアフレンズ」～知的障がいのある成人の生涯学習スクール～
(青森県弘前市中央公民館HP)



共に学び ひろがる世界1 ~障害者×生涯学習~
(Youtubeリンク)文部科学省



共に学び ひろがる世界2 ~障害者×生涯学習~
(Youtubeリンク)文部科学省

